



## NEWS RELEASE

報道資料

2009年9月24日

(日本時間)

### アプライド マテリアルズ 役員人事を発表

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は9月18日(現地時間)、同日付で一部役員の変動を発表しました。

会長兼 CEO マイケル・スプリンターは次のように述べています。「ここ数年間で、アプライド マテリアルズの事業内容や参入している業界は大きく変わりました。当社は半導体製造装置での優位を活かし、フラットパネルディスプレイ製造装置や、最近では太陽電池製造装置の分野でもリーダーシップを発揮しています。参入している各業界でトップの座を維持しつづけるには、企業としてさらに進化を遂げる必要があります。本日発表する役員人事は、その軌道をより強固にするためのものです」

発表された役員人事は以下のとおりです。

#### シリコン システムズ グループ

トム・セントデニス は 10月2日付でシニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー(シリコンシステムズ)を退任する意向を発表しました。代わってこれまでシニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー(ディスプレイ&SunFab ソーラーグループ)を務めてきたランディア・タッカーがシリコンシステムズグループ(SSG)の責任者となります。タッカーは今後、コア事業である半導体製造装置市場におけるアプライドのリーダーシップを強化し、成長目覚ましいエッチング/検査装置分野での足固めを図ります。SSGはアプライド マテリアルズの半導体製造装置全般を扱う部門で、2008年度の売上高は40億ドル。

## エネルギー・環境ソリューション

アプライド マテリアルズは結晶シリコン太陽電池と薄膜太陽電池の市場の重複が増えてきている現状を好機ととらえ、シニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー（エネルギー・環境ソリューション [EES]）マーク・ピントのリーダーシップの下、ソーラー事業組織を統合し、戦略・投資・事業開発のより緊密な連携を図ります。ピントは引き続き最高技術責任者（CTO）も兼任します。ピントはソーラー分野におけるアプライド マテリアルズの優位を固め、新製品を通じてシェアを拡大するとともに、エネルギー・環境分野において新たな成長機会を創出します。EES グループは太陽電池業界向け製造装置のトップサプライヤーで、2008年度の売上高は約8億ドル。

## アプライド グローバル サービス

シニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー（アプライドグローバルサービス [AGS]）を務めてきたマンフレッド・カーシュバムは、今後、チーフオブスタッフとしてグローバル事業戦略を担当します。代わってコーポレートバイスプレジデントのチャーリー・パピスが AGS のジェネラルマネージャーに就任します。パピスは 20 年以上にわたって社内のさまざまな分野で経験を積んでおり、統合ソリューションに基づくアプローチで売上成長を目指すとともに、サービス業務を拡充してお客様の成功を支援していきます。AGS の 2008 年度の売上高は約 23 億ドル。

## ディスプレイ

ジム・ショルハマーは引き続きディスプレイ部門ジェネラルマネージャーを務めます。ショルハマーは当社が 2006 年 7 月にアプライドフィルムズを買収して以来、ディスプレイ部門の経営陣の一員です。ディスプレイグループは液晶ディスプレイ市場のトップサプライヤーで、2008年度の売上高は約10億ドル。

## セールス

フランツ・ヤンカーは、新たにエグゼクティブバイスプレジデント（コーポレートアカウントマネジメント担当）の役職に就き、主要なお客様との関係強化を推進します。アプライド マテリアルズは営業アカウントチームの組織再編を行い、各事業部門内に営業機能を組み込む予定です。

## セーフハーバー条項に基づく注意事項

本プレスリリースには、当社の経営管理、戦略的ポジション、成長機会その他に関する将来の見通しが述べられています。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と大きく異なる場合があります。このようなリスクや不確定要素としては、①当社製品の需要水準（グローバルな経済・業界動向の不確実性、エレクトロニクス製品や半導体への最終需要、顧客企業の生産設備ニーズなど、多くの要因の影響を受ける）、②当社が(i)組織改編を実践する能力、(ii)広範な製品を開発・提供・サポートして市場を拡大する能力、(iii)コスト構造を事業環境に適合させる能力、(iv)主要社員を引き付け、意欲を高め、引き留める能力、③その他、当社が証券取引委員会（SEC）に提出する書類に記載しているリスクなどがあります。将来の見通しに関する記述はすべて 2009 年 9 月 18 日時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来の見通しに関する記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベーティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*  
このリリースは 9 月 18 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 12 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ  
投資家関係:

Applied Materials, Inc.

インベスターリレーションズ: 矢野 悦子 (Tel: +1-408-986-2646)

etsuko\_joslen@amat.com

メディア関係:

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室: 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>

---